

環境報告書 2023

報告対象期間 2022年4月1日～2023年3月31日



2 Tokyo University of Foreign Studies



東京外国語大学
Tokyo University of Foreign Studies

TOP MESSAGE	1
[大学概要]	
東京外国語大学のミッション	2
学生数	2
教職員数	2
建物一覧	2
教育研究組織	3
運営組織	3
[環境パフォーマンス]	
過去5年におけるエネルギー使用量	4
過去5年における温室効果ガス排出量	5
過去5年における水道使用量	5
過去5年におけるコジェネレーション設備による発電及び排熱の回収	6
過去3年における紙使用量	7
過去3年における産業廃棄物排出量	7
グリーン購入の状況	8
[環境配慮への取り組み]	
マイボトル用浄水給水機の設置について	9
学生2団体がTUFSエココンサートを開催	10
電力・ガスの見える化	10
照明器具による省エネルギー対策	11
高効率空調機による省エネルギー対策	12
太陽光発電設備による創エネルギーの取組	13



TOP MESSAGE

東京外国語大学は、150年に及ぶその歴史を通じ、世界の言語・文化・社会を深く掘り下げ、研究によって得られた知見を社会に還元し、日本社会の国際化に寄与してきました。

21世紀の現在、価値観の多様化、社会における分断や格差、差別やレイシズムの深刻化が同時に進行するなか、差異のあるものを、隔離するのでも、同化を強要するのでもなく、差異を包括した、新たな展開を生み出す多文化共生に寄与することが、これからの東京外国語大学の使命です。

そうした中、地球温暖化は世界的な環境問題として深刻化し、本学としても継続的に取り組んで行かなければならない大きな課題の一つです。温暖化に伴う気候変動や海面上昇、自然災害の激甚化、生態系の変化、農作物の不作など様々な問題は、私たちの健康や生活基盤、社会活動などに大きな影響をもたらしています。

政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。世界で見ると、現在150カ国以上の国や地域もカーボンニュートラルの実現を表明しています。これら脱炭素化に向けた動きは、世界的に加速しています。

本学としても、地球温暖化問題の解決に貢献し、世界の様々な地域や民族、全ての生き物にとっての生存基盤の安定に寄与することは、本学が使命として掲げる多文化共生にもつながると考えております。その一環として、「自然エネルギー大学リーグ」や「カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリション」への参画、「教職員・学生と協働で地球温暖対策を推進し、大学が使う全ての電力について、2030年度までに自然エネルギー電力へ転換（生産又は調達）することを目指す。」ことの宣言、環境問題に関し活動する学生団体「たふえね」の立ち上げなど様々な取組や活動を行ってまいりました。

これからも、だれもが安心して豊かに暮らせる将来の為に、カーボンニュートラル達成に向け努力していきたいと考えております。

本学の環境活動について、これからも皆様のご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

国立大学法人 東京外国語大学
学長 林 佳世子

大学概要

■東京外国語大学のミッション

多文化共生に寄与する東京外国語大学

東京外国語大学は長きにわたり、世界の言語とそれを基底とする文化、世界諸地域や国際的な問題について、研究と教育を行ってきました。令和5年に建学150周年を迎え、世界諸地域の言語・文化・社会に関する高等教育の中心として、また、学際的研究拠点として、その役割をさらに明確にします。多言語多文化化する日本と世界で、人々の共生に寄与する人材、そして地球的課題に取り組むことのできる人材の養成を目指します。また、大学として、共生社会の実現に向けた社会貢献事業に取り組めます。

■学生数（2023年5月現在）

学部在籍者数

学部	1年	2年	3年	4年	総計
言語文化学部	349	384	379	537	1,649
国際社会学部	352	358	404	566	1,680
国際日本学部	86	87	85	97	355
計	787	829	868	1,200	3,684

大学院在籍者数

大学院総合国際学研究科	1年	2年	3年	計
博士前期課程	133	182	-	315
博士後期課程	38	39	132	209
計	171	221	132	524

■教職員数（2023年5月現在）

役員等	10名	
教員	245名	(役員5名含む)
職員	134名	
計	389名	

■建物一覧

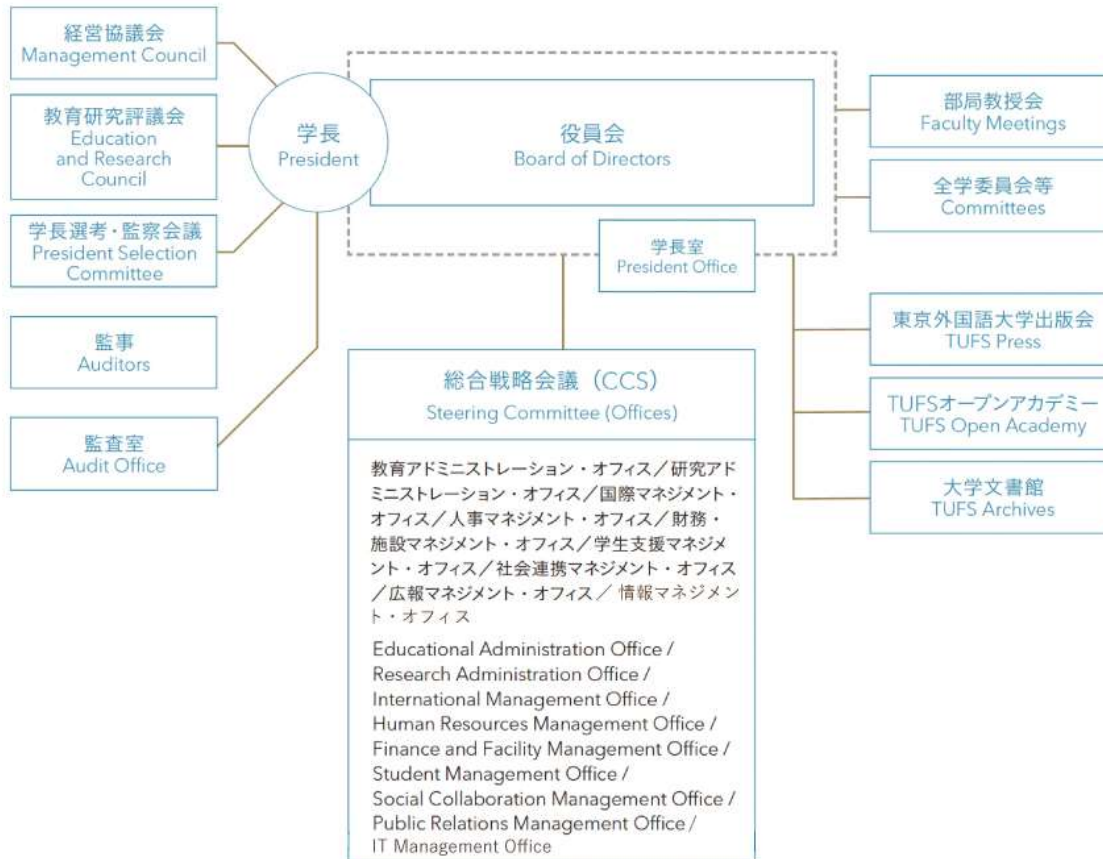
No	建物名称	建物構造	延床面積 (㎡)	完成年
1	研究講義棟	RC8-1	27,940	2000
2	附属図書館	RC4	6,820	2000
3	大学会館	RC2	2,770	2000
4	保健管理センター	RC1	458	2000
5	車庫	RC1	107	2000
6	屋内運動場	SRC5-1	5,720	2001
7	アジア・アフリカ言語文化研究所	SRC8	7,610	2001
8	本部管理棟	SRC5-1	3,927	2002
9	弓道場	RC1	198	2002
10	器具庫	RC1	240	2002
11	留学生日本語研究センター	SRC6-1	5,510	2003
12	国際交流会館 (1号館)	SRC7-1	3,270	2004
13	国際交流会館 (2号館)	SRC6	2,798	2006
14	アゴラ・グローバル	RC3	2,949	2010
15	国際交流会館 (3号館)	RC8	5,045	2013

大学概要

■ 教育研究組織

学部教育組織	言語文化学部 School of Language and Culture Studies	
	国際社会学部 School of International and Area Studies	
	国際日本学部 School of Japan Studies	
大学院教育組織	総合国際学研究科 Graduate School of Global Studies	
	博士前期課程 Master's Programs	世界言語社会専攻 Global Studies Program
		国際日本専攻 Japan Studies Program
	博士後期課程 Doctoral Programs	世界言語社会専攻 Global Studies Doctoral Program
		国際日本専攻 Japan Studies Doctoral Program
	共同サステナビリティ研究専攻 Joint Doctoral Program for Sustainability Research	
予備教育組織	留学生日本語教育センター Japanese Language Center for International Students	
教員組織	大学院総合国際学研究院 Institute of Global Studies	
	大学院国際日本学研究院 Institute of Japan Studies	
	世界言語社会教育センター World Language and Society Education Center	
大学附置組織	アジア・アフリカ言語文化研究所 Research Institute for Languages and Cultures of Asia and Africa	
	情報資源利用研究センター Information Resources Center	
	フィールドサイエンス研究企画センター Field Science Center	
大学附属組織	附属図書館 Library	
学内共同利用組織	保健管理センター Health Care Center	
	総合情報コラボレーションセンター Information Collaboration Center	
	多言語多文化共生センター Center for Intercultural Studies	
	ハラスメント相談室 Harassment Consultation Office	
学内研究組織	語学研究所 Institute of Language Research	
	総合文化研究所 Institute of Transcultural Studies	
	海外事情研究所 Institute for Global Area Studies	
学内研究組織	国際関係研究所 Institute of International Relations	
	国際日本研究センター International Center for Japanese Studies	
	現代アフリカ地域研究センター African Studies Center	
	南アジア研究センター South Asia Studies Center	
	TUFS地域研究センター TUFS Area Studies Center	
	TUFSフィールドサイエンスcommons TUFS Field Science Commons	
教育支援組織	ワールド・ランゲージ・センター World Language Center	
	LINGUA テストセンター LINGUA Test Center	
	英語学習支援センター English Learning Center	
	CEFR-J 推進室 CEFR-J Office	
	教育情報化支援センター Multimedia and Computer-Aided Education Support Center	
	教育情報化支援室 Educational Information Support Office	
オンライン教育支援室 Online Learning Support Team		
留学支援共同利用センター TUFS Student Mobility Center		
アカデミック・サポート・センター TUFS Academic Support Center		
国際メディア情報センター TUFS Media Center		
国際教育支援室 International Education Support Office		
研究支援組織	学際研究共創センター Center for Transdisciplinary Research, Networking and Dialogue	
学生支援組織	グローバル・キャリア・センター Global Career Center	
	ボランティア活動スペース Volunteer Action Space	
	学生相談室 Student Counseling Room	
社会連携等組織	TUFSオープンアカデミー TUFS Open Academy	
	大学文書館 TUFS Archives	
	東京外国語大学出版会 TUFS Press	
	オンライン日本語教育センター Online Japanese Education Center	

■ 運営組織



環境パフォーマンス

■過去5年におけるエネルギー使用量

本学は2008年度まで東京都環境確保条例に定められる大規模事業所(※)の指定を受け、CO₂排出の総量削減義務が生じていました。その後エネルギー使用量が条例の基準を下回ったことから、2009年には大規模事業所の指定が解除され、その後は横ばい状態にあります。使用しているエネルギー種別は電力・都市ガスとなっており、2022年度のエネルギー使用量は、老朽化設備の計画的な改修(高効率化)や太陽光発電設備の導入、空調の設定温度の見直し等省エネ活動等により、昨年度比4%の削減となりました。

※大規模事業所：原油換算した使用エネルギーが3ヶ年度連続で1,500kL以上となる事業所

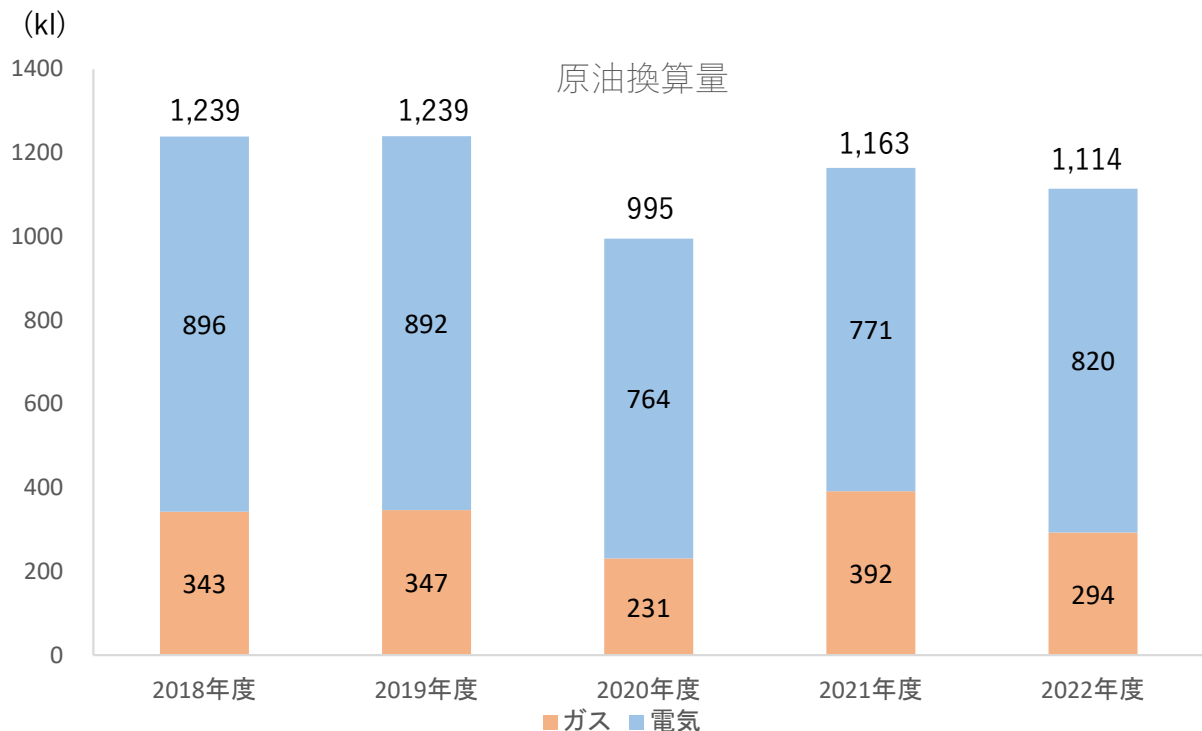
<エネルギー使用量の推移>

エネルギー種別	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
電力 (kWh)	3,556,955	3,543,234	3,031,077	3,063,870	3,257,784
都市ガス (m ³)	295,518	298,883	199,141	337,560	253,077

<原油換算量>

(kl)

エネルギー種別	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
電力	896	892	764	771	820
都市ガス	343	347	231	392	294
計	1,239	1,239	995	1,163	1,114



環境パフォーマンス

■過去5年における温室効果ガス排出量

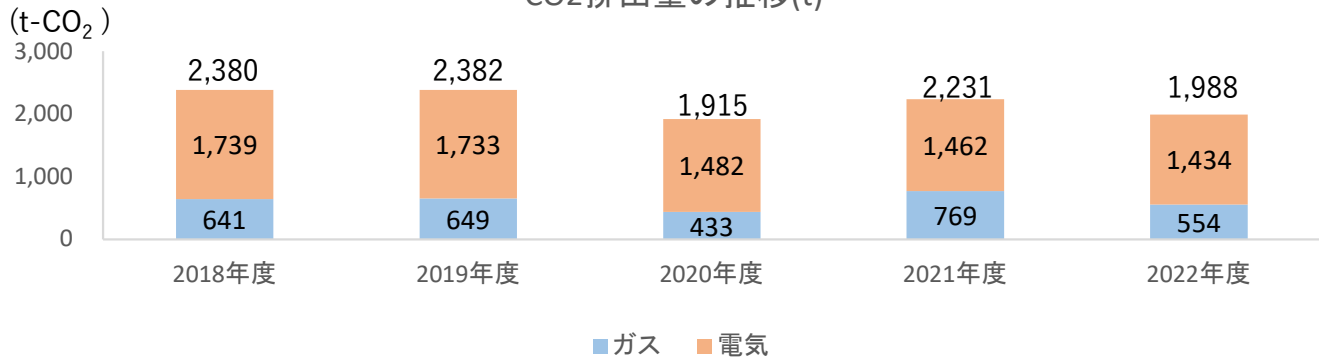
東京都環境確保条例により大規模事業所となっていた2007年時点においては、3,079 t-CO₂の排出量がありましたが、直近5年においては概ね2,200 t-CO₂前後にて推移しています。

<CO₂排出量の推移>

(t-CO₂)

エネルギー種別	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
電力	1,739	1,733	1,482	1,462	1,434
都市ガス	641	649	433	769	554
計	2,380	2,382	1,915	2,231	1,988

CO₂排出量の推移(t)



■過去5年における水道使用量

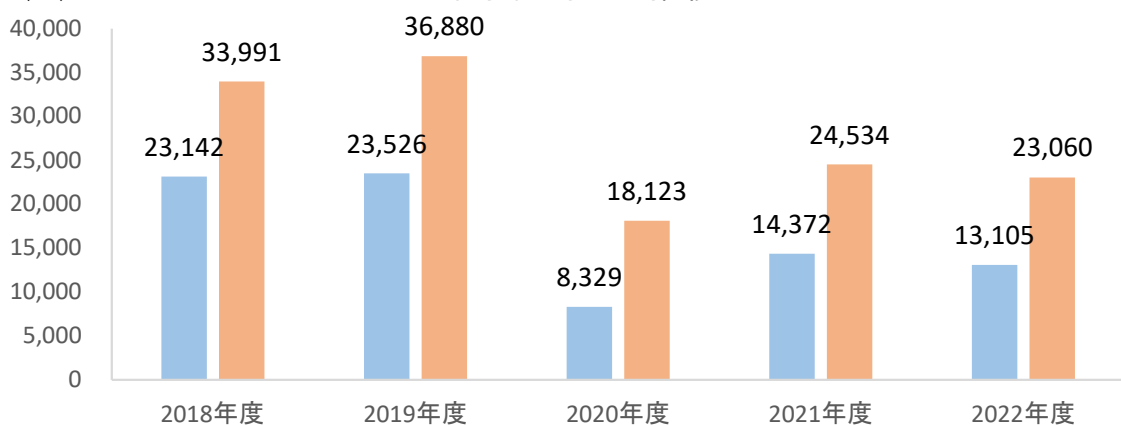
2022年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う大学内での対面授業制限や食堂の利用制限などが緩和された2021年度と同程度の水道使用量となりました。

なお、雨水をトイレの洗浄水として再利用しているため、上水より下水使用量が多くなっています。

<上下水道使用量の推移>

種別	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
上水 (m ³)	23,142	23,526	8,329	14,372	13,105
下水 (m ³)	33,991	36,880	18,123	24,534	23,060

上下水道使用量の推移 (m³)



環境パフォーマンス

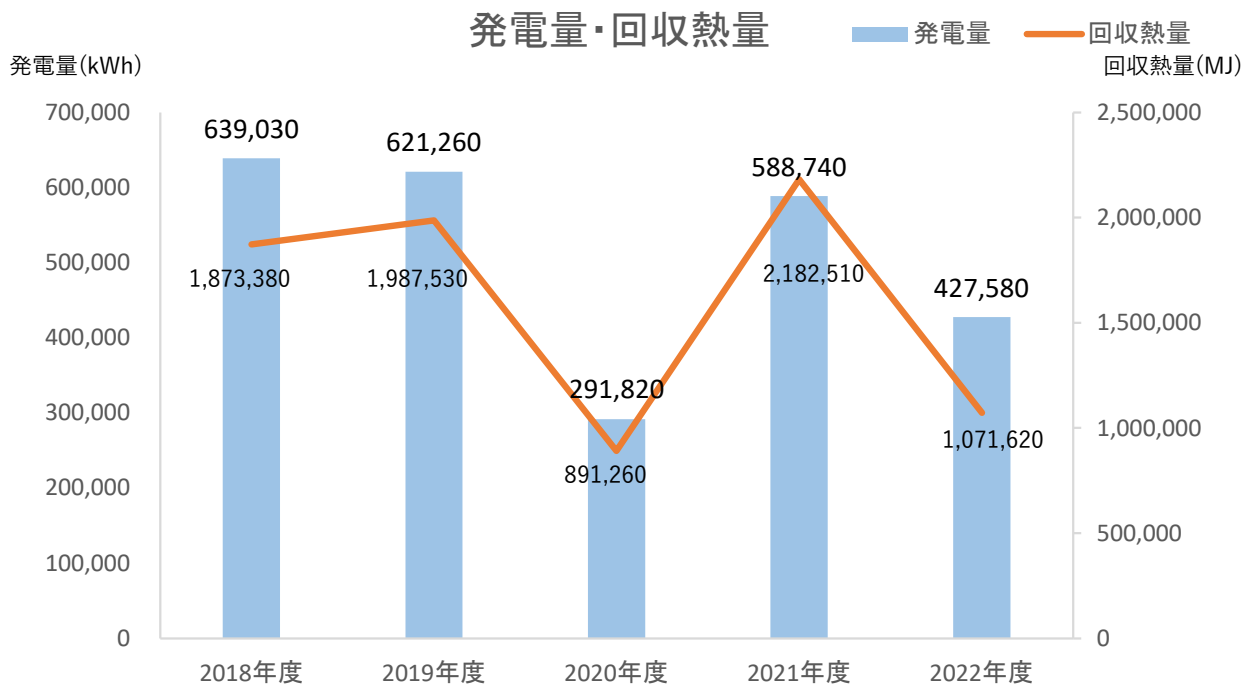
■ 過去5年におけるコジェネレーションシステムによる発電及び排熱の回収

370kW(389kVA)の定格出力を有したガスエンジン式のパッケージ形常用発電機(×2台)が研究講義棟の地階に設置されており、発電時に発生する排熱をガス焚きの吸収式冷温水発生機で利用して省エネを実現する、コジェネレーションシステムが冷暖房期に稼働しています。なお、コジェネレーションシステムによる過去5年における発電量及び排熱回収熱量は以下のとおりです。

2022年度は発電機の運転調整等により、発電量や排熱回収量は例年に比べて低い数値となりました。

<コジェネレーションシステムによる発電・排熱回収実績>

エネルギー種別	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
電力(kWh)	639,030	621,260	291,820	588,740	427,580
回収熱量(MJ)	1,873,380	1,987,530	891,260	2,182,510	1,071,620



環境パフォーマンス

■過去3年における紙使用量

本学では古紙資源のリサイクルに貢献する「リサイクルPPC」を使用しています。過去3年度の使用量は以下のとおりです。

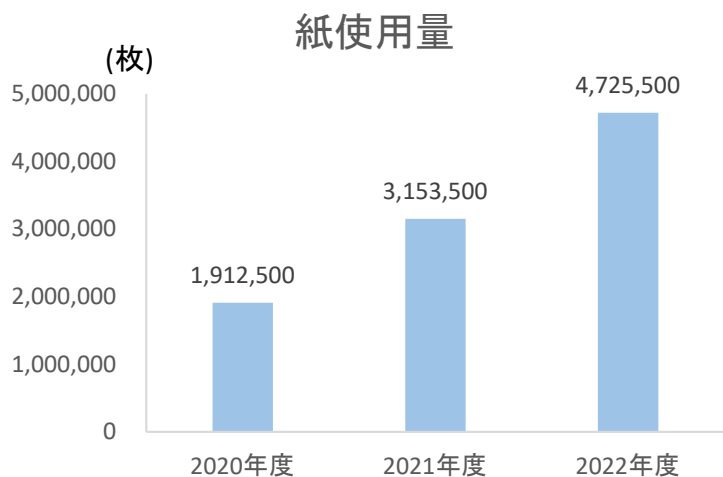
2022年度は新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う在宅勤務等の影響も徐々に減少し、2021年度の使用量に比べて多い数値となりました。

<再リサイクルPPC用紙使用量の推移>

	箱数	枚数
A3	55	82,500
A4	695	1,737,500
B4	11	27,500
B5	26	65,000
計	787	1,912,500

	箱数	枚数
A3	34	51,000
A4	1,169	2,922,500
B4	7	17,500
B5	65	162,500
計	1,275	3,153,500

	箱数	枚数
A3	327	490,500
A4	1,603	4,007,500
B4	45	112,500
B5	46	115,000
計	2,021	4,725,500

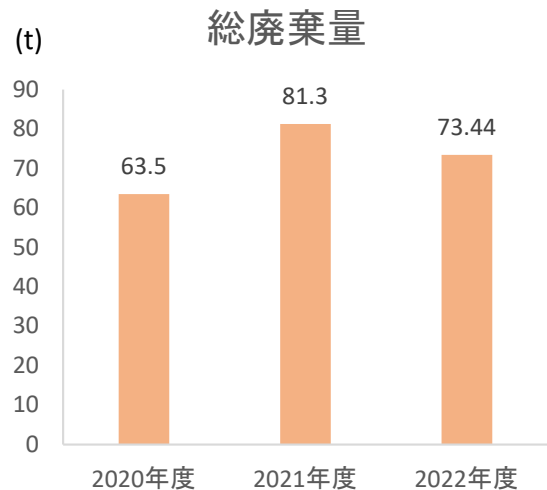


■過去3年における産業廃棄物排出量

過去3年度の産業廃棄物排出量は以下のとおりです。2022年度の排出量は2021年度と比較して若干の減少となりました。

<産業廃棄物排出量の推移>

種別	2020年度	2021年度	2022年度
産業廃棄物 (t)	63.5	81.3	73.4



環境パフォーマンス

■ グリーン購入の状況

環境物品等の調達に当たって、できる限り環境への負荷の少ない物品等の調達に努めることとし、環境物品等の判断基準を超えるものを調達すること、また、グリーン購入法適合品が存在しない場合についても、エコマーク等が表示され、環境保全に配慮されている物品を調達することについて配慮しました。

※グリーン購入法：国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律

国等の機関にグリーン購入（製品やサービスを購入する際に、環境を考慮して、必要性をよく考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入すること）を義務付けるとともに、地方公共団体や事業者・国民にもグリーン購入に努めることを求めた法律。

< 令和4年度特定調達品目調達実績（物品） >

分野	①目標値	②総調達量	③特定調達物品等の調達量	④特定調達物品等の調達率 =③/②
紙類（kg）	100%	25,982	25,982	100%
文具類（個・冊・本・枚）	100%	14,180	14,180	100%
オフィス家具等（脚・個・台・連）	100%	142	142	100%
画像機器等（個・台）	100%	760	760	100%
電子計算機等（個・台）	100%	761	761	100%
オフィス機器等（個・台）	100%	230	230	100%
家電製品（台）	100%	19	19	100%
エアコンディショナー等（台）	100%	18	18	100%
照明（個・台・本）	100%	2,848	2,848	100%
インテリア・寝装寝具（個・台・点・枚）	100%	83	83	100%
作業手袋（組）	100%	1,439	1,439	100%
災害備蓄用品（個・本）	100%	864	864	100%
役務（件）	100%	275	275	100%
ごみ袋等（枚）	100%	2,505	2,505	100%

■ 令和4年度における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の締結実績の概要

https://www.tufs.ac.jp/documents/abouttufs/outline/kankyohairyo_r4.pdf

■ 令和4年度における環境物品等の調達実績の概要

https://www.tufs.ac.jp/documents/abouttufs/outline/chotatsu_gaiyo_r4.pdf

環境配慮への取り組み

■マイボトル用浄水給水機の設置について

学生サークル「たふえね」やたふさぼ主催の「おしゃべり会」からの提案を受け、水道水を活用する環境負荷の低い浄水給水機を2023年の3月に研究講義棟1Fのガレリアへ計2台設置しました。

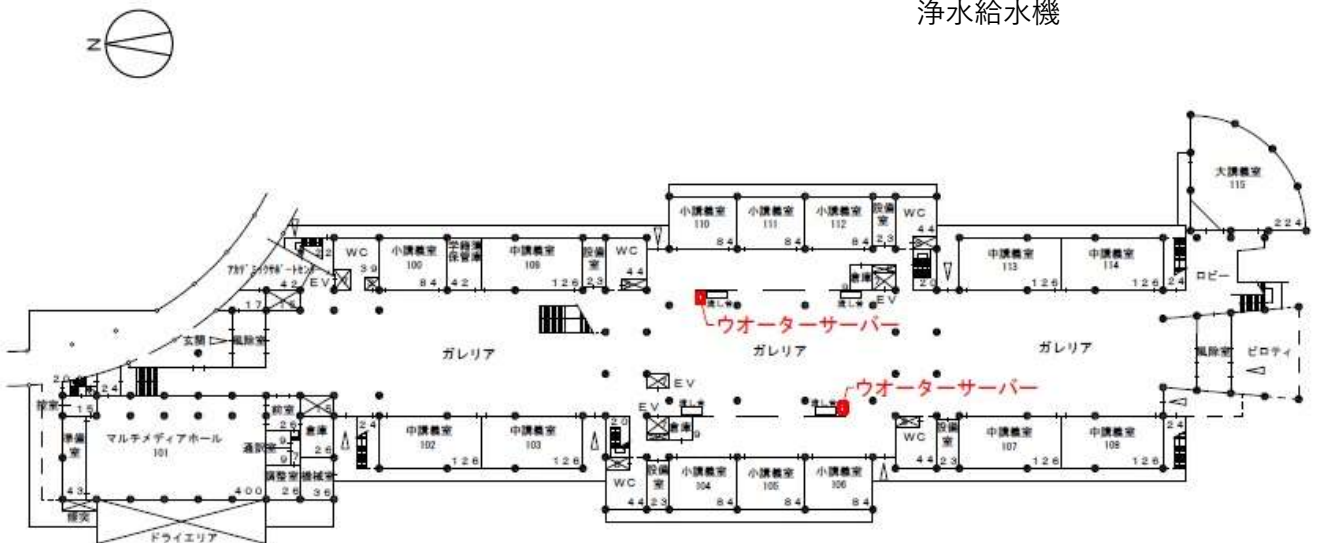
浄水給水機を設置することにより、ペットボトル等のプラスチックごみの排出量削減と持続可能な社会の形成に向けた取組を行っています。



ペットボトルからマイボトルへ



浄水給水機



研究講義棟 1階

浄水給水機設置場所

環境配慮への取り組み

■ 学生2団体がTUFSEココンサートを開催

- 学生団体の「アコースティックサークル AA」と「たふえね」のコラボレーションにより、昼休みの時間帯に円形広場の噴水付近において、TUFSEココンサートが開催されました。このコンサートでは、音楽や噴水を楽しみながら、訪れた学生達と地球環境について考えました。



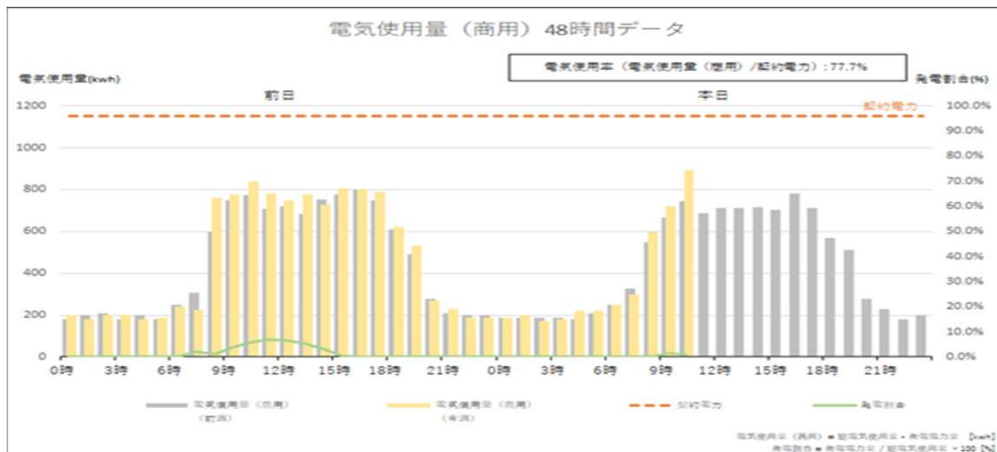
円形広場におけるTUFSEココンサート



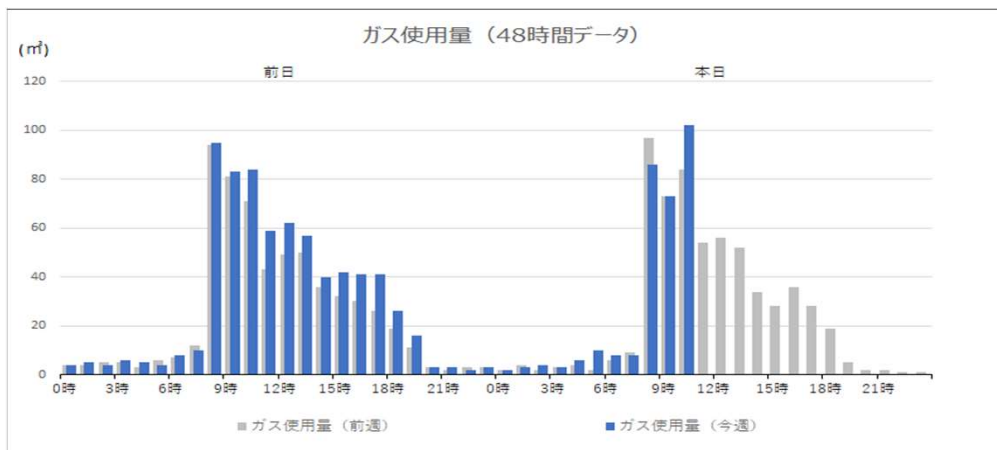
円形広場における噴水の吐水

■ 電力・ガスの見える化

- 下記のURLに電力やガスの使用状況等がグラフ化されており、使用エネルギーの把握と節電・節ガス意識を啓蒙している。<<https://www.tufs.ac.jp/abouttufs/outline/eco/demand.html>>
- 電気使用量（1時間単位）



- ガス使用量（1時間単位）



環境配慮への取り組み

■施設整備における省エネルギー対策

①照明器具による省エネルギー対策

省エネルギー対策として、照明器具のLED化を計画的に進めています。2022年度は研究講義棟の照明器具 計1,114台(府中キャンパス全体の約7%)をLED化しました。



研究講義棟照明LED化(演習室220)



研究講義棟照明LED化(1階男子WC)



研究講義棟照明LED化(3階会議室)



研究講義棟照明LED化(マルチメディア室216)

<令和4年度の照明器具LED化と電力削減率>

令和4年度に改修した建物	LED化した台数	棟別照明電力削減率
研究講義棟	1,114台	64%

※: 器具当たりの削減率

環境配慮への取り組み

②高効率空調機による省エネルギー対策

- ・工事箇所：留学生日本語教育センター棟1階事務室や会議室等

留学生日本語教育センター棟1階事務室や会議室等の老朽化した空調機を、より高効率な空調機に改修することで省エネルギー化を図りました。



留学生日本語教育センター棟屋内機



留学生日本語教育センター棟屋外機

～直近の空調設備改修工事(予定含む)～

	建物	改修年度 (予定含む)	代表的な部屋
①	留学生日本語教育センター棟	2022	1階事務室・第1会議室等
②	留学生日本語教育センター棟	2023	1階交流室・2階教室等
③	アジア・アフリカ言語文化研究所	2023	3階マルチメディア会議室・共同研究室等

環境配慮への取り組み

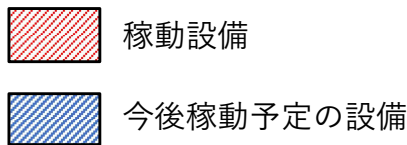
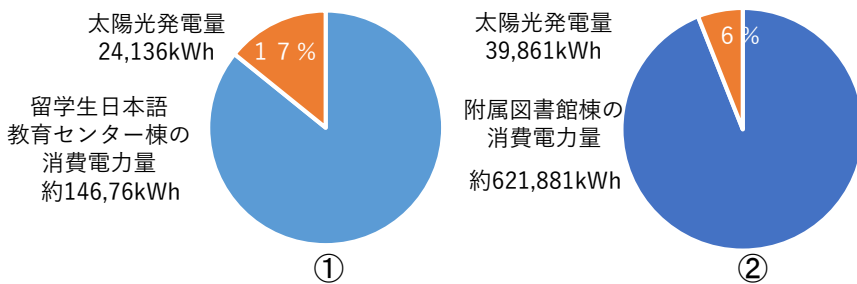
③太陽光発電設備による創エネルギーの取組

創エネルギーの取組として太陽光発電設備を2009年度に留学生日本語教育センター棟へ(発電出力：30kW)、2021年度に附属図書館へ(発電出力：30kW)、それぞれ設置しました。2023年度には、40kWの出力を有する太陽光発電設備をアゴラ・グローバルに設置します。

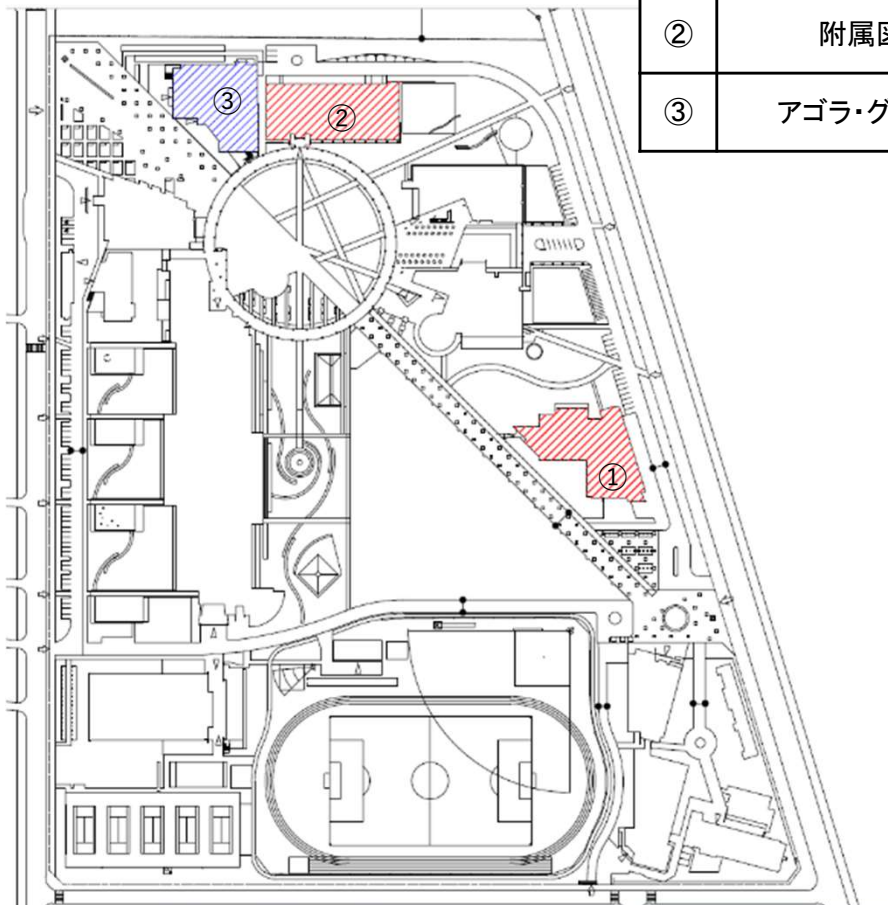
・太陽光発電設備の稼働状況

- ①留学生日本語教育センター棟屋上(2009年度設置)
- ②附属図書館屋上(2021年度設置)

～2022年度太陽光発電再生可能エネルギー利用率～



～太陽光発電設備配置図～



留日センター棟屋上太陽光発電設備



大学会館1階ホールモニター

	設置場所	設置年度	発電出力
①	留学生日本語教育センター棟	2009	30kW
②	附属図書館	2021	30kW
③	アゴラ・グローバル	2023	40kW



附属図書館屋上太陽光発電設備



附属図書館太陽光発電モニター



本報告書の対象範囲

- ・ 報告対象組織 国立大学法人 東京外国語大学
- ・ 報告対象期間 2022年4月1日～2023年3月31日

東京外国語大学 2023年度版 環境報告書

発行年月 令和6年（2024年）1月

問い合わせ先 国立大学法人東京外国語大学 総務企画部 施設企画課

TEL 042-330-5141 FAX 042-330-5420

Eメール shisetsukikakuka@tufs.ac.jp

大学ホームページ <http://www.tufs.ac.jp/>